



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan  
幹事会

〒144-0043  
東京都大田区羽田5-11-4  
フェニックスビル  
TEL.03-5705-2770  
FAX.03-5705-3274

www.alpajapan.org    Date 2004.02.25    No. 27 - 55

2月6日

# 宇宙線被ばく問題で国に要請

## 文科省「重要な問題と認識している」

日乗連は客室乗務員連絡会と合同で2月6日、文部科学省、厚生労働省、国土交通省に対し「航空機乗務員の宇宙線被ばくを職業被ばくと位置付け適切に管理すること」などを求める要請を行いました。日乗連がこの問題について国に要請を行うのは'96年について二度目となります。私たちの要請に対し文科省などは、「航空機乗務員の宇宙線被ばくは重要な問題と捉えている。今後、関係省庁と協議し対応を検討したい」と述べました。

## NHK、テレビ朝日、毎日新聞、読売新聞などで報道

要請前日の5日にNHKが乗務員の宇宙線被ばくについて大きく報道したこともあり、要請行動当日には多くのマスコミが訪れ、テレビ取材を受けると共に記者会見を求められ、報道各社から多くの質問を受けました。そして、それらは、6日および7日のテレビや新聞などで広く報道されました。また、その後も日乗連にはマスコミからの問合せが続いており、18日の読売新聞には、政府に早急な対応を求める5段抜きの解説記事が掲載されるなど、私たちの要請は社会的に大きな反響を呼んでいます。マスコミ各社は要請内容をほぼ正確に伝えており、また、NHKニュース10や読売新聞の解説記事の論調は私たちの主張に沿うものであり、これらの報道はこの問題についての社会の認識を高める啓発的な報道となっています。このような報道がなされる事自体、この問題についての社会の関心の高さを示していると言えます。

## 私たちの、そして社会の関心が国を動かす

国際放射線防護委員会が勧告を行い、そしてそれに沿って規制を実施する国が現れる現状などから、今や国もこの問題の重要性を認識せざるを得ない状況となっています。また、今回のような社会的な関心の高まりは、行政にこの問題の対応を迫る状況を作り出していると言えます。

日乗連は、更に社会の関心を高めると共に、IFALPAを通じて各国の協会と連携を強めながら、国にこの問題への対応を強く求めていきます。

今後、宇宙線被ばく問題のニュースをシリーズで発行します。

